

感震ブレーカーアダプター『ヤモリ』オプション

# パワーヤモリ【GV-AP1】

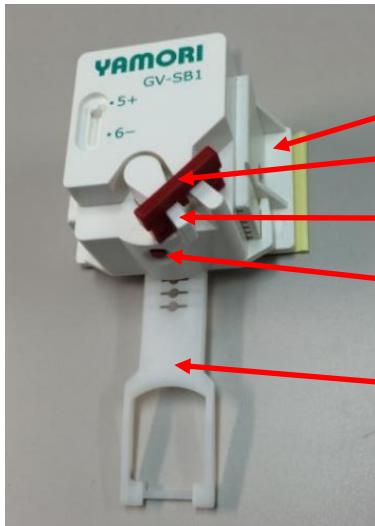
## 取付説明書



# 【各部の名称と用語解説】

## 1) 構成と名称

### ◇ヤモリ



- ・台座
- ・アームフック
- ・セットアーム
- ・テストスイッチ
- ・バンド

### ◇パワーヤモリ



・ドライブユニット

・アーム突起部



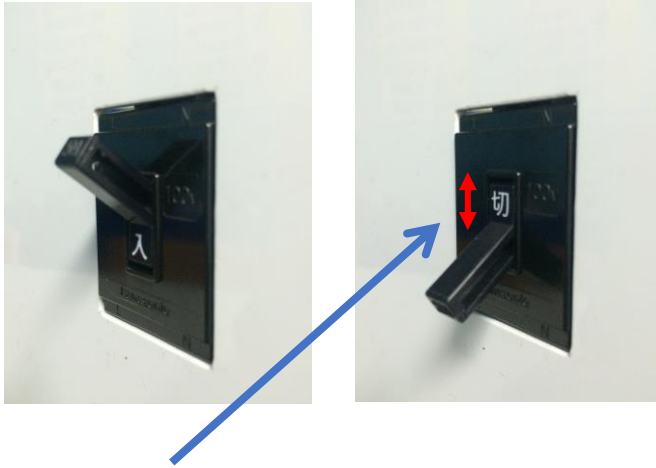
・パワーヤモリ本体

・ワイヤー

- ・バンド
- ・回転スイッチ

## 2) ブレーカーについて

### ◇ロングストローク



この距離（入と切の差）が1.5cm以上のブレーカーをロングストロークと呼びます。

※ 8ページを参考に設置場所を決めて下さい。

## 3) その他

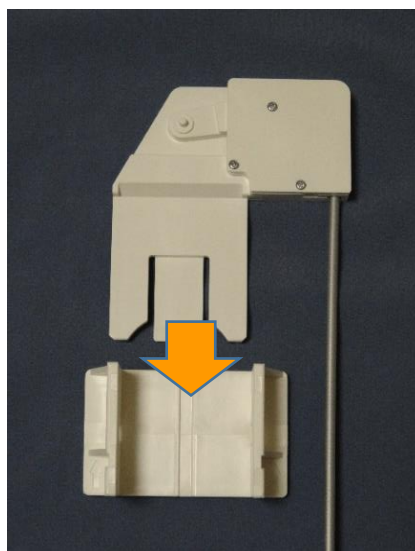
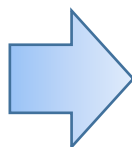
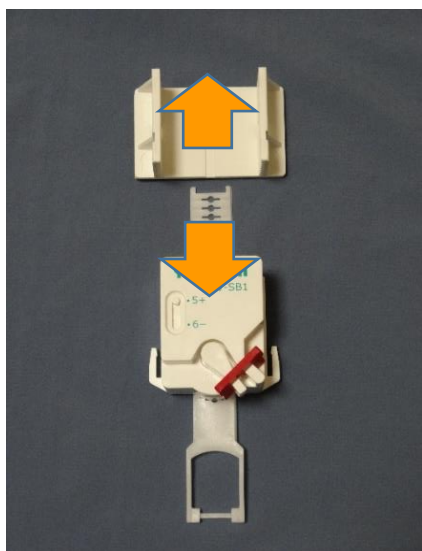
### ◇アルコールパッド



ヤモリやパワーヤモリを取り付ける場所を清掃します。

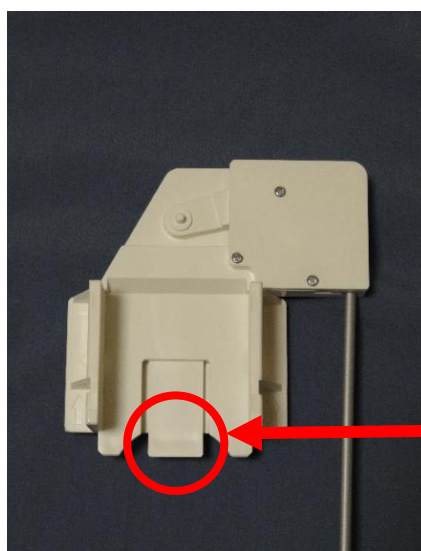
## 【パワーヤモリ設置方法】

### Step1. パワーヤモリにヤモリ本体をセット



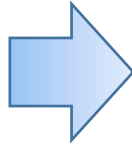
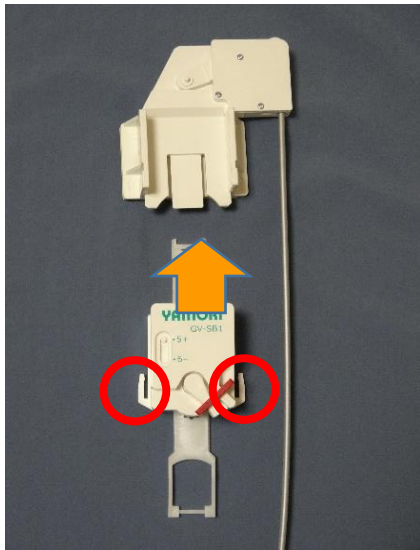
1. ヤモリ本体を台座の下から  
抜き取るように外します。

2. パワーヤモリのドライブユニットを  
台座の奥から2段目のスリットに、  
台座の上側からセットします。  
※台座には上下があります。左右脇の  
矢印の向きを確認して下さい。



セットした際に  
カチッと音がします。

パワーヤモリと台座のセットが完了



3. ヤモリを、セットした台座の奥から4段目のスリットに下側から挿入します。

4. ドライブユニットのアーム突起部をバンドの上から2つめの穴にセットします。

セットした際にカチッと音がします。

パワーヤモリとヤモリのセットが完了

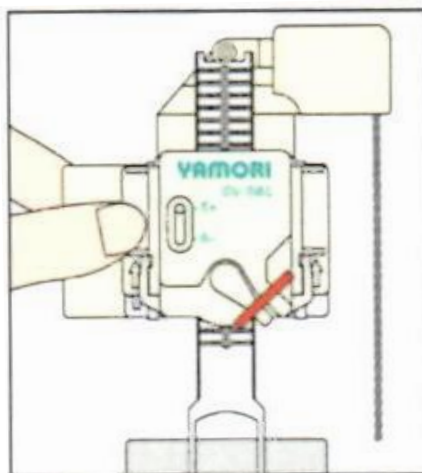


5. ヤモリ本体を壁へ取り付けするおおよその位置を決め、ケーブルの長さを確認しながらパワーヤモリも分電盤への取り付け位置を決めて下さい。(スイッチ上部もしくは下部)

## Step2. ヤモリ台座の接着固定

### 6 ヤモリ台座の壁面接着固定

- ヤモリ本体の取付位置を決め、壁面をアルコールパッドで清掃し、よく乾かします。
- ヤモリ台座裏のハクリ紙（小）を剥がし壁面に仮固定します。取付位置が正しいことを確認し外に出ているハクリ紙（大）を引き抜きます。
- 最後に、ヤモリ本体を5回程押し込み本固定します。



## Step3. パワーヤモリの接着固定

### 7 パワーヤモリの接着固定

- パワーヤモリの取付位置を決め、アルコールパッドで清掃し、よく乾かします。
- パワーヤモリ台座裏のハクリ紙（小）を剥がし壁面に仮固定します。取付位置が正しいことを確認し、外に出ているハクリ紙（大）を引き抜きます。
- 最後に、パワーヤモリ本体を5回程押し込み本固定します。

※万が一、動作テストでブレーカースイッチが落ちない場合、パワーヤモリ側の台座の高さや、バンドの長さを調整して下さい。



## Step4. ヤモリ本体のアームフックを取り外す

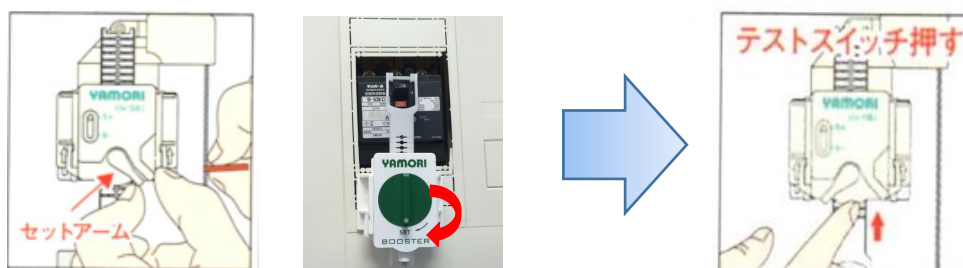
### 8 アームフックの取り外し

- 右手でセットアームの先端を軽くつまみ、左手でアームフックを手前方向に引いて外します。
- 右手でセットアームを保持したまま、さらに強く押し込みセットします。



## Step5. 動作テスト

### 8 動作テスト



- ヤモリのセットアームが右にセットされていることを確認し、パワーヤモリの回転ダイヤルを時計回りに「SET」位置まで回転させます。
- ヤモリのテストスイッチを押して、ブレーカーがOFFになるかを確認します。
- ブレーカーが無事OFFになることを確認したら、上記の様に再度セットし完了です。

# 【取り付け場所について】

## 1. 通常

ブレーカースイッチの下部に取り付けて下さい。  
(スイッチを引き下げる方式)



※注1  
2. ブレーカースイッチが、ロングストロークの場合  
ブレーカースイッチの上部に取り付けて下さい。  
(スイッチを押し下げる方式)

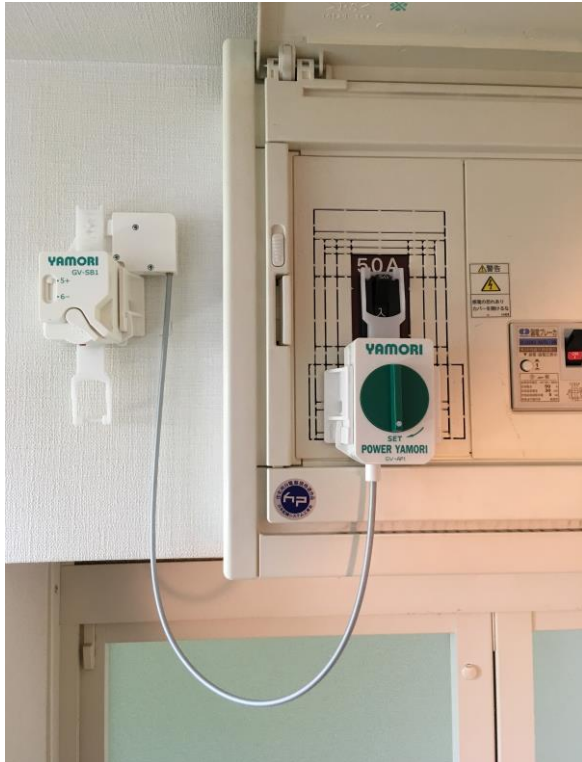
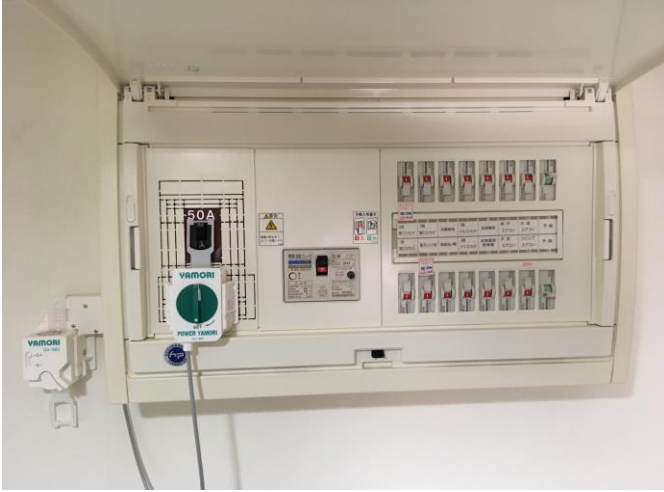


ケーブルの固定クリップは  
製品には含まれておりません。

※注1 3ページ参照



# 【パワーヤモリ取り付け例】



# 【パワーヤモリ復旧方法1】



セットレバーが左側  
になっている

ブレーカースイッチ  
OFF

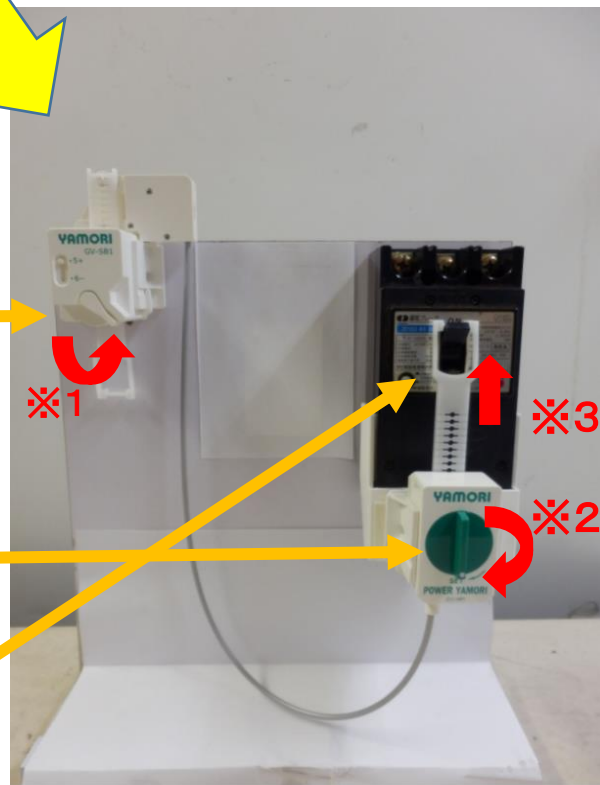
回転ダイヤルの白い○が  
上を向いている

地震により作動した状態

①セットレバーを右側  
に捻る

②回転ダイヤルを  
カチッと音がするまで右に回し  
白い○を最下部に合わせる

③ブレーカーのスイッチを  
上(ONの状態)に戻す



レバーを戻し復旧した状態

## 【パワーヤモリ復旧方法2】

### 感震ブレーカー作動後の復旧方法(注意点)

- 建物が全壊や半壊となった場合には復旧しないで下さい。
- 通話可能な電話と使用可能な消火器を用意して下さい。
- 復旧作業は明るい時間帯になるべく2名以上で行って下さい。
- 電化製品のコンセントを全て抜いて下さい。

チェックをしないとこんな事に



### 感震ブレーカー作動後の復旧方法(手順)

- 1) 最初に、分電盤の**子(分岐)ブレーカー**を**全てOFF**にする。
- 2) 【ヤモリ】のレバーをロックされるまで右側に捻り**ON**にする。 ※1
- 3) 【パワーヤモリ】のダイヤルを右側に捻り**ON**にする。 ※2
- 4) 【パワーヤモリ】をセットしている**ブレーカー**を**ON**にする。 ※3
- 5) 最後に、安全を確認しながら子(分岐)ブレーカーを1つずつ**ON**にする。

( ※1 ※2 ※3 は10ページ参照)

- ◆漏電ブレーカーの中には、電源OFFからONに戻す時にリセットしないとスイッチが戻らないタイプのものがありますのでご注意ください。  
(リセットに関しては、機種によりさまざまですが、リセットボタンを押しながら戻す、リセットボタンを一度押してから戻す、スイッチレバーを一旦下げ切ってから戻す、というような方法があります。)



**LINTEC21**